

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	尿所見寛解発現率に対して透析導入後には寛解できないことを加味した推定方法～J-IGACSの2次研究～		
1. 研究の目的と方法	IgA腎症は蛋白尿、血尿を特徴とする腎疾患です。これまで血尿に対する治療効果の報告にはばらつきが大きいことが知られていました。本学の研究グループにより、汎用されていたデータ解析方法の問題点が最近わかりました。それを改善した適切なデータ解析方法を、実際のデータを用いて解説することができると、今後の治療法の評価や腎予後の予測に広く応用され、患者さんへの説明もより正確にできることが期待されます。 一次研究として行われた「IgA腎症の腎病理所見と予後の関連に関する前向き多施設共同研究(Japan IgA nephropathy cohort study: J-IGACS)」は、2021年5月で登録症例のデータ収集を終了しました。本研究では、一次研究のJ-IGACS（受付番号16-174[4402]「IgA腎症の腎病理所見と予後の関連に関する前向き多施設共同研究」）で、患者さんの個人名、生年月日が切り離され、症例研究番号で情報が固定されたデータをデータ管理業務を受託しているEP山梨株式会社より受け取り適切なデータ解析方法による解析結果を示します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年5月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	一次研究のJ-IGACS（受付番号16-174[4402]「IgA腎症の腎病理所見と予後の関連に関する前向き多施設共同研究」）に同意をし、参加をされた方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	年齢、性別、血圧、腎機能を含めた検査結果（血清Cr（eGFR）、尿蛋白、血尿など）使用薬剤の情報、腎生検結果を使用します。	
	(4) 情報の取得の方法	一次研究のJ-IGACS（受付番号16-174[4402]「IgA腎症の腎病理所見と予後の関連に関する前向き多施設共同研究」）で取得され、すでに加工されているデータを二次利用します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 研究推進センター
		氏名	西川 正子
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
(3) 当施設の 試料・情報の	(1)の研究責任者と同じ		

	管理責任者	
	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2024 年 11 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名： 東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 研究分担者： 小池 健太郎（こいけ けんたろう） 電話番号：03-3433-1111（内線 3221） 対応時間：平日午前 9 時～午後 5 時	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。